

カツオのたたきづくり体験

11月17日の三世代交流の日に、ほくは、カツオのたたきづくり体験をしました。

最初に、1本のカツオを3枚におろしました。家庭科室の包丁と違って、細長くてとてもよく切れました。それでも、ななめに包丁を入れて頭を落とすときは、切りにくくて難しかったです。皮も思っていた以上にたたくて、なかなかとりにくかったです。骨と魚の身を分けて3枚におろすのも、切りにくくて難しかったです。

次に、わら焼きをしました。フォークの大きいのみたいなものの上に、4つのかたまり(さく)をのせて、火に近づけます。高知大生や幡多魚市場の森田さんがドラム缶の中にわらを入れると、ボーと燃えてすごく熱かったです。

最後に、あぶったさくをさしみに切りました。お母さんが、「引くようにきつたらえい」と教えてくれたので、左手を



猫の手にして切りました。切れ味がいいので、手を切りそうでした。カツオのたたきづくりができて、楽しかったです。

(三浦小学校 5年 吉尾 昇竜)

しゅうかくさいのげき

今年もしゅうかくさいに、全校でげきをしました。だいは、「ざんねん、たねごさん」です。こぶしノ川に昔すんでいた今西たねごさんという人について、地い

きの方にお話を聞いてげきにしました。ほくは、子ども時代のたねごさんのや

くをしました。たねごさんは、空をとぶことにむ中で、そのことばかり考えている人でした。

おきやくさんがどっさりいたので、大きな声を出すのが、

ちよつとはずかしかったです。

どきどきしました。大人時代のたねごさんや

くのそうへいくんは、声もうご

きもかっこいい

なと思いました。

家で、「上手やっ

たね」と、お母さ

んからほめても

らいました。

たねごさんの

(拳ノ川小学校 2年 今西 遥斗)



Tシャツをデザイン!!

大方高校では、「自律創造型地域課題解決学習」(総合的な学習の時間)で地域の方から課題をいただき、解決するためのアイデアを立案しています。私たちは「じいんず工房大方」の「Tシャツのプリントのデザインを考えよう!」という課題に取り組みました。

私はもともと服が好きなので、すぐデザインできると思っていました。でも実際は、文字の大きさや配置などを決めるのに苦労しました。班員のTシャツに対する好みの違いもあり、意見が分かれることもありましたが、お互いの意見を否定せず尊重し合うことで、自信作が出来上がりました。

「じいんず工房大方」がテレビで取り上げられたとき、私たちも生出演しました。また、文化祭や黒潮町まるごと産業祭でTシャツを売り、買ってもらえると、よっきや(とても)うれしかったです。



今回Tシャツをデザインして、みんなと協力して取り組む大変さと達成感を味わうことができました。

(大方高校 2年 浜岡 音海)